

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	上富士川上流排水整備事業			会計	款	項	目	大	小
				01	08	03	02	01	55
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	河川課				
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備		主管課長	池田 輝昭				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	上富士川上流域の周辺住民	意図	上富士川上流域の河川改修を行うことで、治水安全度を向上させ、浸水被害を防ぐ。
事業内容	上富士川上流域の河川改修を行うことで、流域内の浸水被害を防ぐものである。また、河川改修のための用地を買収するものである。			
事業開始から現在までの状況変化	上富士川上流域の大雨時の浸水被害を解消するため、流域に位置する松戸市、柏市、流山市に3市で、事業の推進を図っている。 平成15年度に3市による事業負担に関する基本協定を締結し、延長400mの改修工事を実施している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	河川改修率	59	71	71	%	▲▲
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成29年度に実施した底版工と同一区間の側壁工を実施した。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,802,388	4,844,644	4,366,200				
事業費(b)(円)		1,115,888	4,173,444	3,707,000				
うち一般財源		1,115,888	4,173,444	3,707,000				
職員給与費(c)(円)		686,500	671,200	659,200				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					
				コストの削減		B 削減の余地がややある

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・浸水被害の早期解消に向け、事業主体との協議を行う。	③取組における課題(Check)	・向小金3丁目地先における浸水被害解消には、同事業の早期完成が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	・事業に伴う年度協定を松戸市、柏市と締結した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・早期完成に向け、松戸市、柏市と連携し事業の推進を図る。